

平成29年度 横浜ひなたやま支援学校不祥事ゼロプログラム

横浜ひなたやま支援学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定め、1年間取り組んだ。ここに実施結果と目標の達成状況を報告する。

項目	目標	行動計画の実施結果と目標の達成状況
1 公務外非行の防止	公務外であっても、法令遵守の意識を持ち、公務員として自覚ある行動をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に「職員行動指針カード」を配付し、各自内容を理解し、カードを常時携帯するよう徹底することで、職員行動指針の共有化を図ることができた。</li> <li>・職員打合せや不祥事防止会議を適宜開催し、教育長通知の周知、10項目点検啓発資料による確認、関連情報等を取りあげることによる注意喚起を行い、法令遵守意識向上や公務員としての行動意識の向上を図ることができた。</li> </ul>
2 体罰、不適切な指導、セクハラ、パワハラ行為の防止	子どもの人権について理解を深めるとともに、教職員の人権意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10項目点検を実施し、啓発資料等による理解や意識の向上を図った。</li> <li>・12月21日研修実施。「自他尊重のコミュニケーション アサーティブを学ぶ」研修によって、さらなる人権教育の推進、お互いを尊重する人権意識の向上、生徒への支援のあり方の理解が図られ、本校教員や生徒のコミュニケーション能力の向上に繋がった。</li> <li>・3月22日研修実施。実際にあった事例を2つ挙げて説明。起きたことの捉え方を確認し、生徒と接する際の注意喚起を図った。また、体罰についてのアンケートを取り、傾向を確認することで理解を深めた。</li> </ul>
3 交通事故・交通違反の防止	法令の遵守と安全運転を励行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事防止職員啓発・点検資料を活用し、交通事故防止や交通規則の遵守について全職員で確認した。また、交通事故対応として、私用中においても管理職への連絡が必要である等の確認も行なった。年末年始は特に、飲酒運転（同乗含む）の防止に向けた意識付けを図った結果、違反等の報告はなかった。</li> </ul>
4 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の保護等についての理解を深め、適切な情報管理を遂行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の管理方法、管理場所等については、随時確認して情報を共有するとともに、適切な管理方法等を徹底することができた。</li> <li>・12月1日研修実施。入学選抜に向けて、個人情報の記載された資料の取り扱いを再確認し、情報の流出、紛失等について注意喚起した結果、事故なく実施することができた。</li> </ul>
5 業務執行体制の確保と事故の未然防止	業務協力体制、相互チェック体制を確立し、教育活動における事故を未然に防ぐ意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット事例について、データベース化し共有していくことを全体会で確認し、担当ごとに書き込み、書かれた事例を共有したり、作業学習において事故につながりやすいポイントを授業案に書き込み、事故防止に努めたりすることで、再発防止や未然防止の意識を高めることができた。</li> <li>・7月19日研修実施。学校生活で起こりうる事故を想定し、事例ごとにグループに分かれて協議を行い、対応策について考え、全体発表し共有したことで、意識を高めることができた。</li> </ul>

○平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

平成29年度は、日常的な啓発にのみならず、総括教諭が中心となり複数回実施した校内研修会や、外部講師を活用した有意義な研修の実施等によって、職員全体に意識の向上が見られ、不祥事ゼロを達成することができた。平成30年度は、今年度のヒヤリハット事例の検証等に基づき、「体罰、不適切な指導の防止」「個人情報等の管理、情報セキュリティ対策」「業務執行体制の確保と事故の未然防止」に関して、特に重点的に取り組むこととする。